



—ショタ淫魔が
お姉さんたちに
挟まれる話—

カラー
50P



よく見ろよ
ラファイ

うう
やめてよお……



遠慮すんなんて

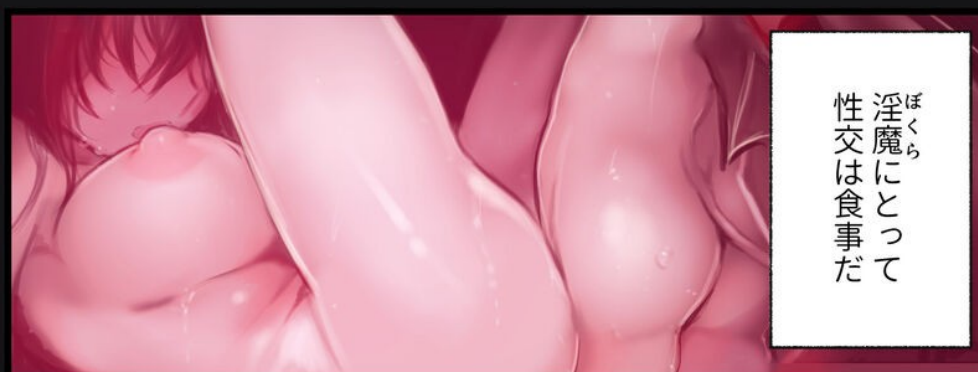
でも……僕……

俺たちの
優しさが
解んないかな

お前が満足に
狩りの一つも
出来ないから
わざわざお膳立て
してやってんだろ





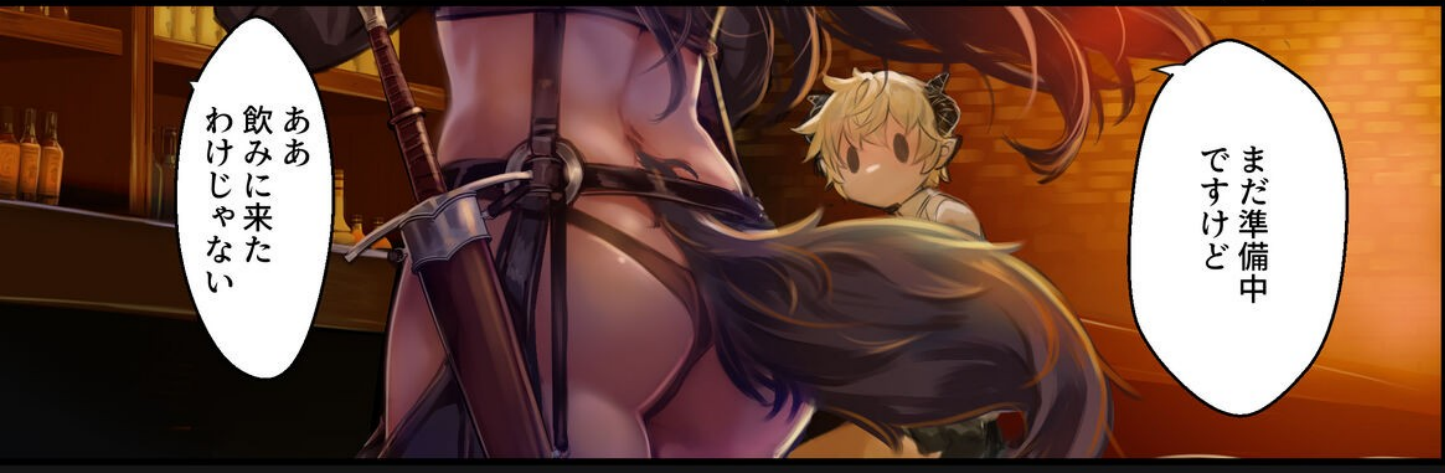




邪魔するぞ

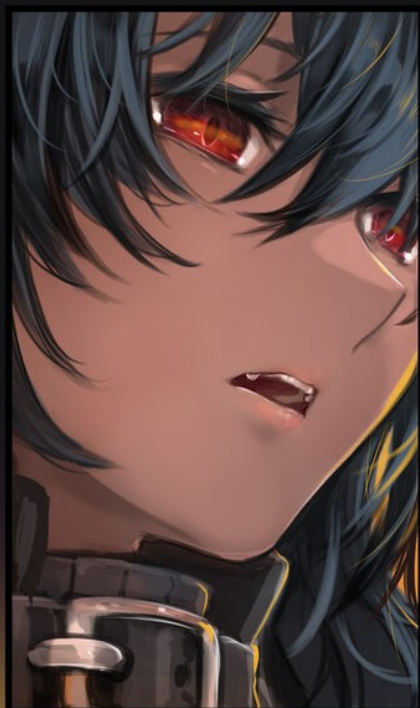


イーリさん！
いらっしやい！



まだ準備中
ですけど

ああ
飲みに来た
わけじゃない



忘れ物を
探しに来たんだ

このぐらいの
茶色い鞆を…

ちよつと
見てみます

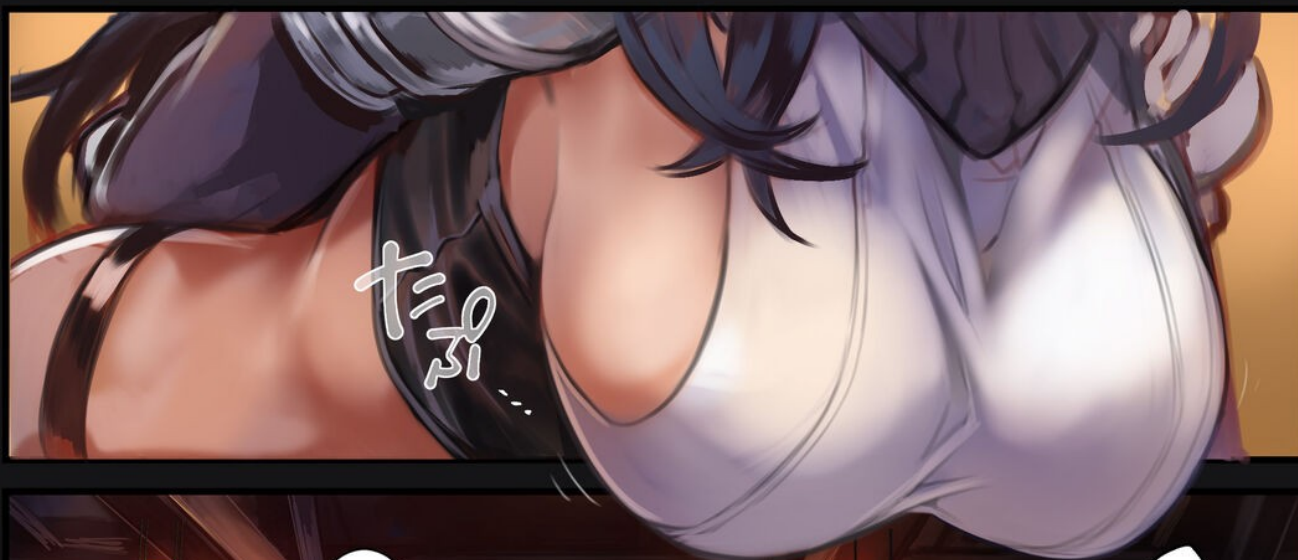


!! トキッ



キレイな人……

なにかなボウヤ



次は
客としてくるよ

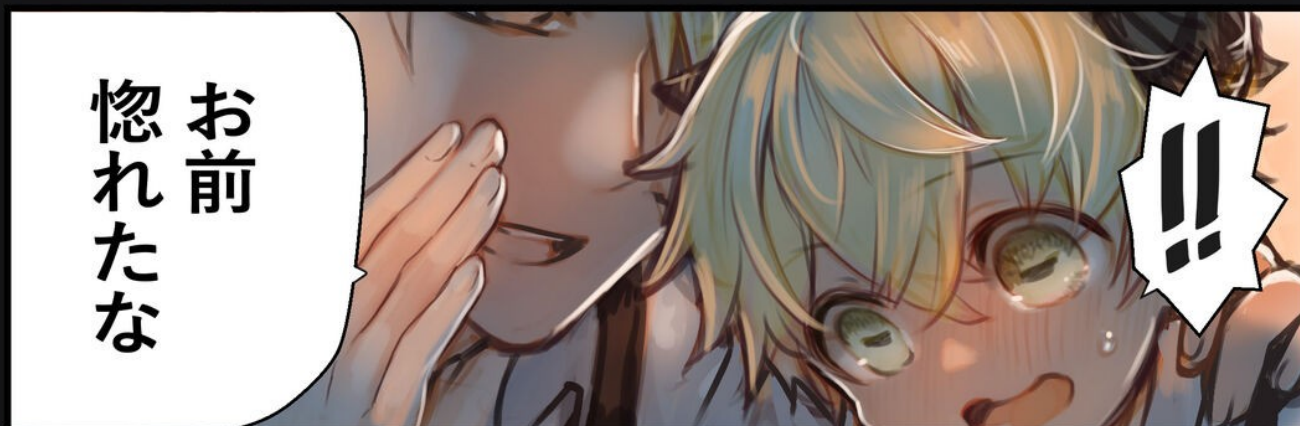
お待ち
してます！



ラフィ!!



お前
惚れたな



ちが……っ！
別にそんな……！

皆まで
言うな！

俺が女の子の
落とし方を
教えてやろう！

いいか！
まず淫魔の基本
としては……！

あああ……







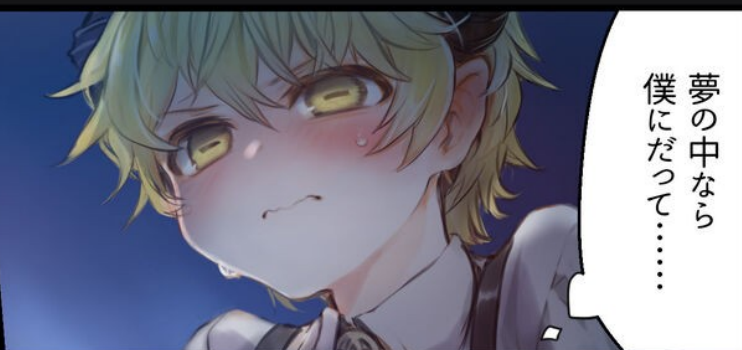
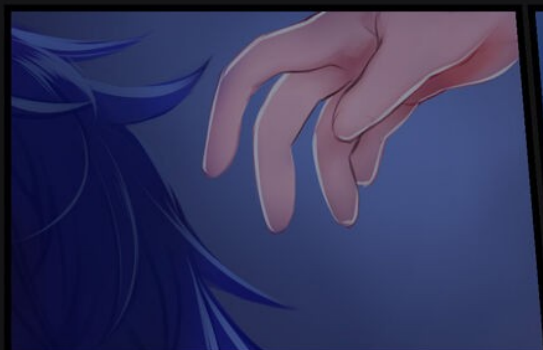
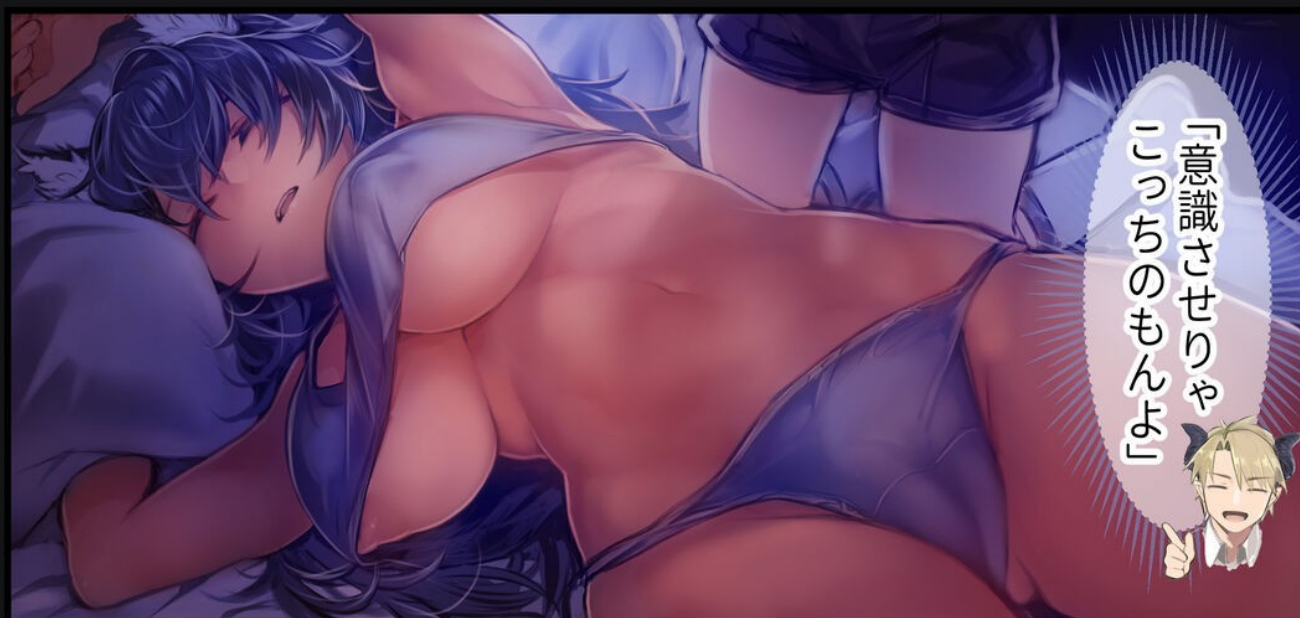
「まずはお前の
淫魔の力で……」

「えっちな夢を見せる！」

ドキ

ぐりり…

ドキ



君って夜這い
するような
悪い子だったの？

お仕置きが
必要だね♥

あれええええ
えええええ！！？

ちがうちがう！
こういうのじゃ
ない……！

僕が
見せたかった
のは……！

うう
もう帰……

ムムム



ぐいっ

う、わっ！

かわいい……

えっ
あの……

かわいいね
きみ……
ちいさい……

羊みたい
だね

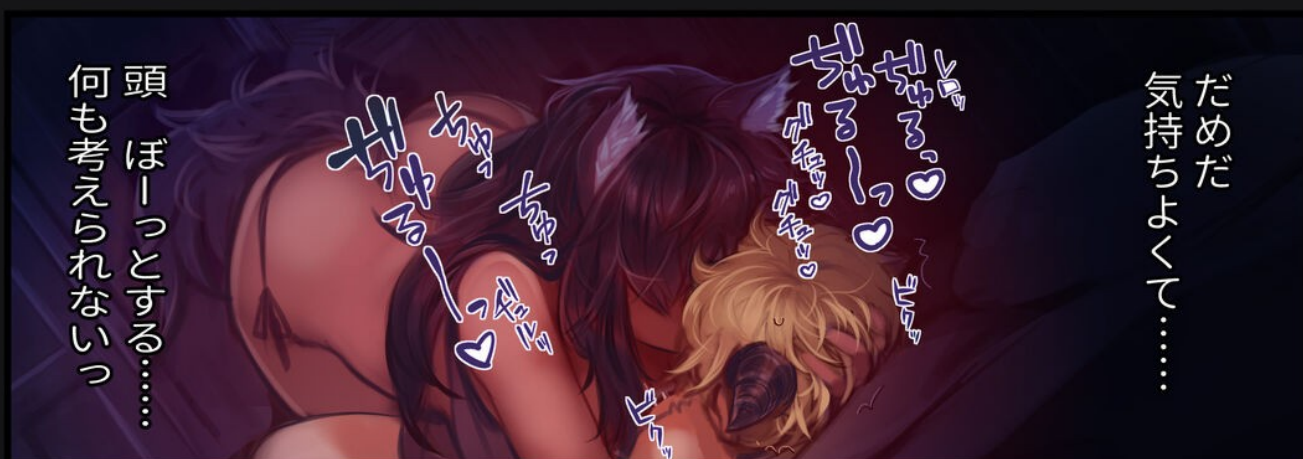
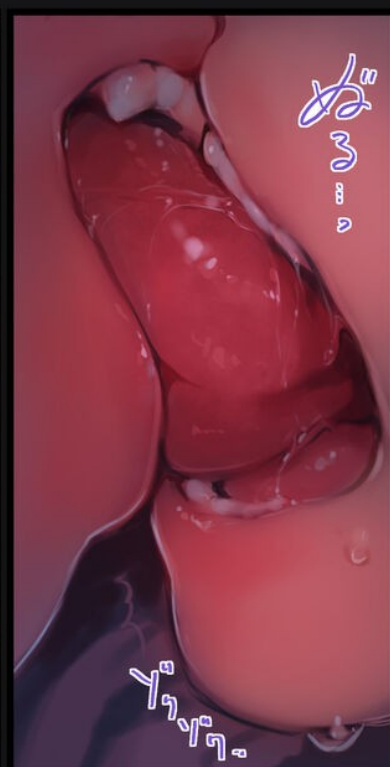
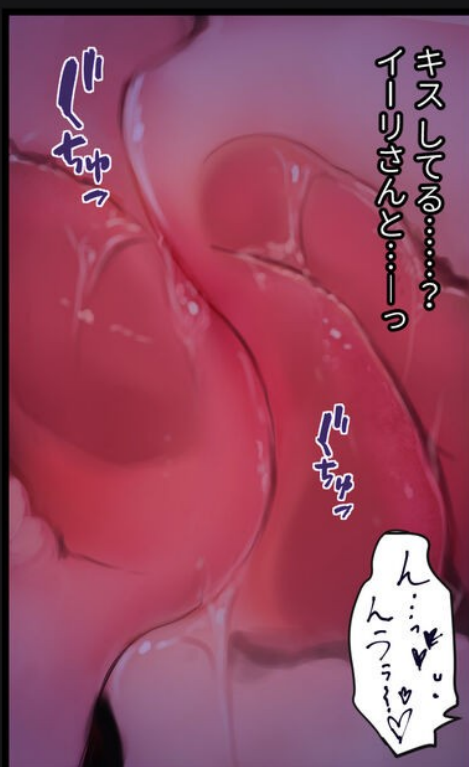
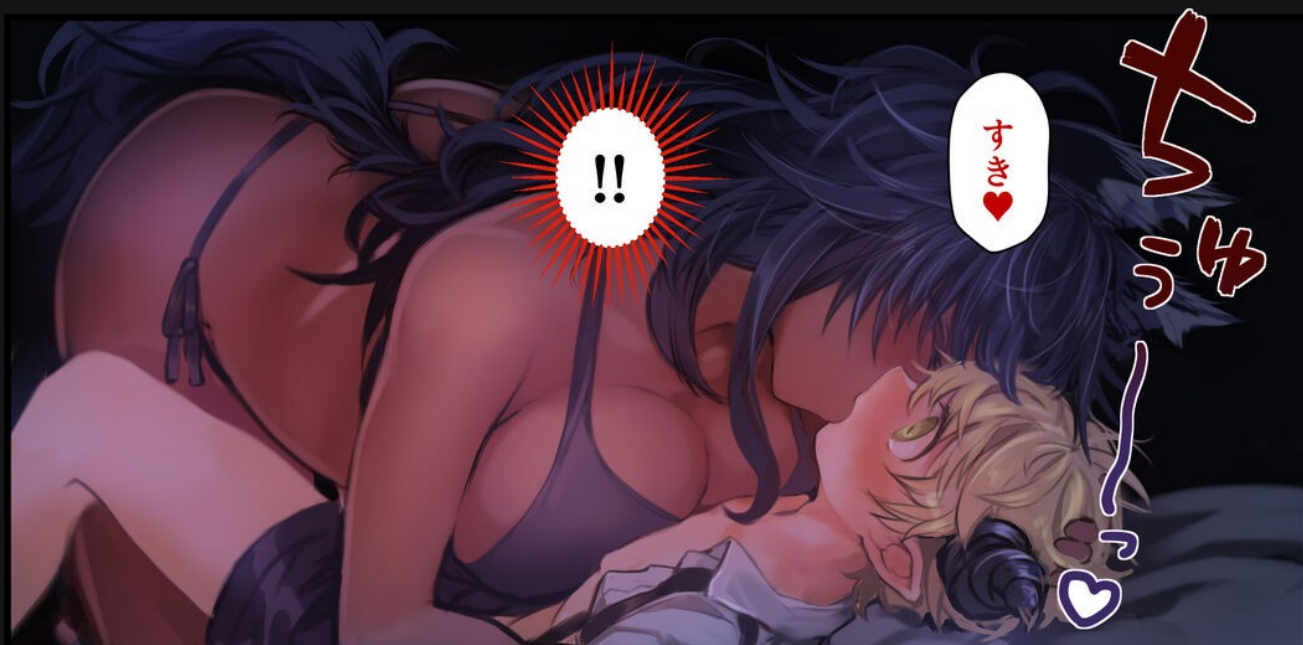
えっ
あれ？

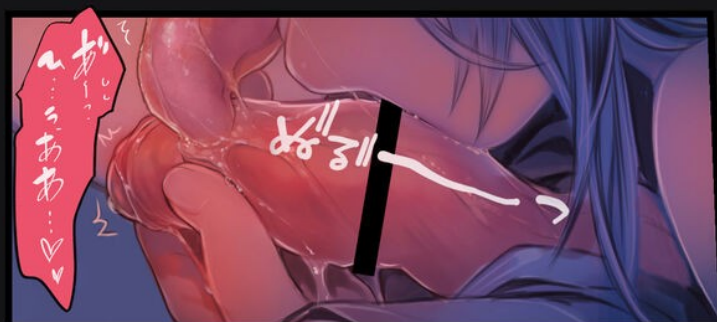
なんか
雰囲気……！

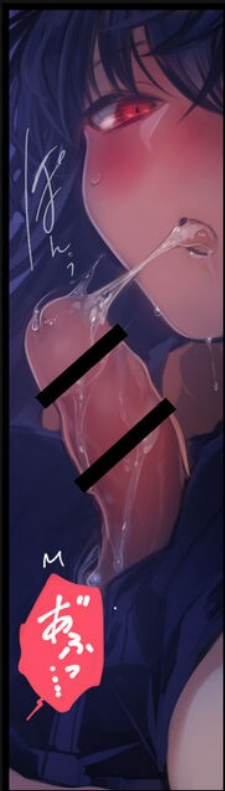
ぎゅ……

ほっ

そうか！
僕の力のせいで







泣いてる...?
痛かったかな

あつそ...
そうじゃなくて

これは...その

イーリさんの
く口の中.....

きもち.....
よくて.....

は.....

はふ.....♡

へえ.....

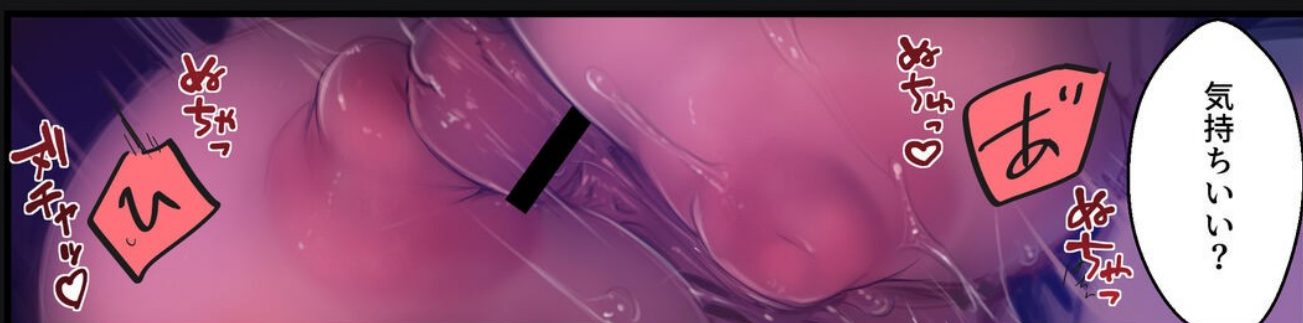
そうなんだ

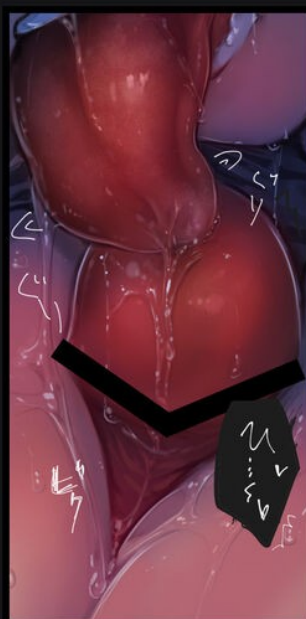
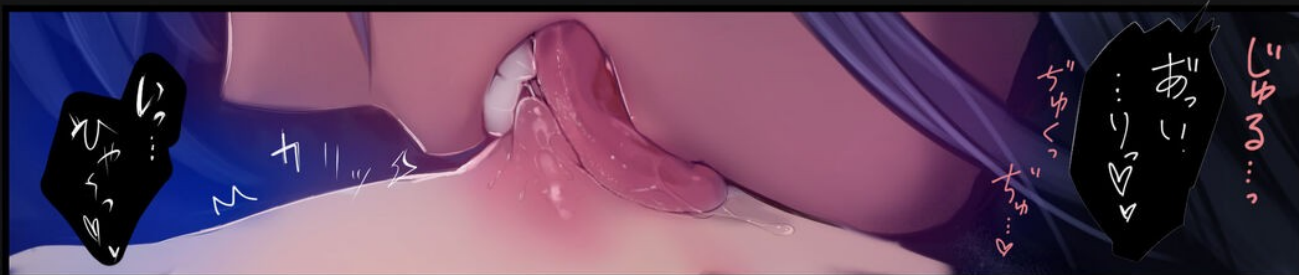
!!

ギギギ

は.....

ギギギ











次の日



今朝の
あの感じ!
満更じゃないぞ!





あら♥
可愛いお客さん

ああれ？
イーリさんは？

あの子に
用があるの？



多分
もう少しで
戻ってくるわよ

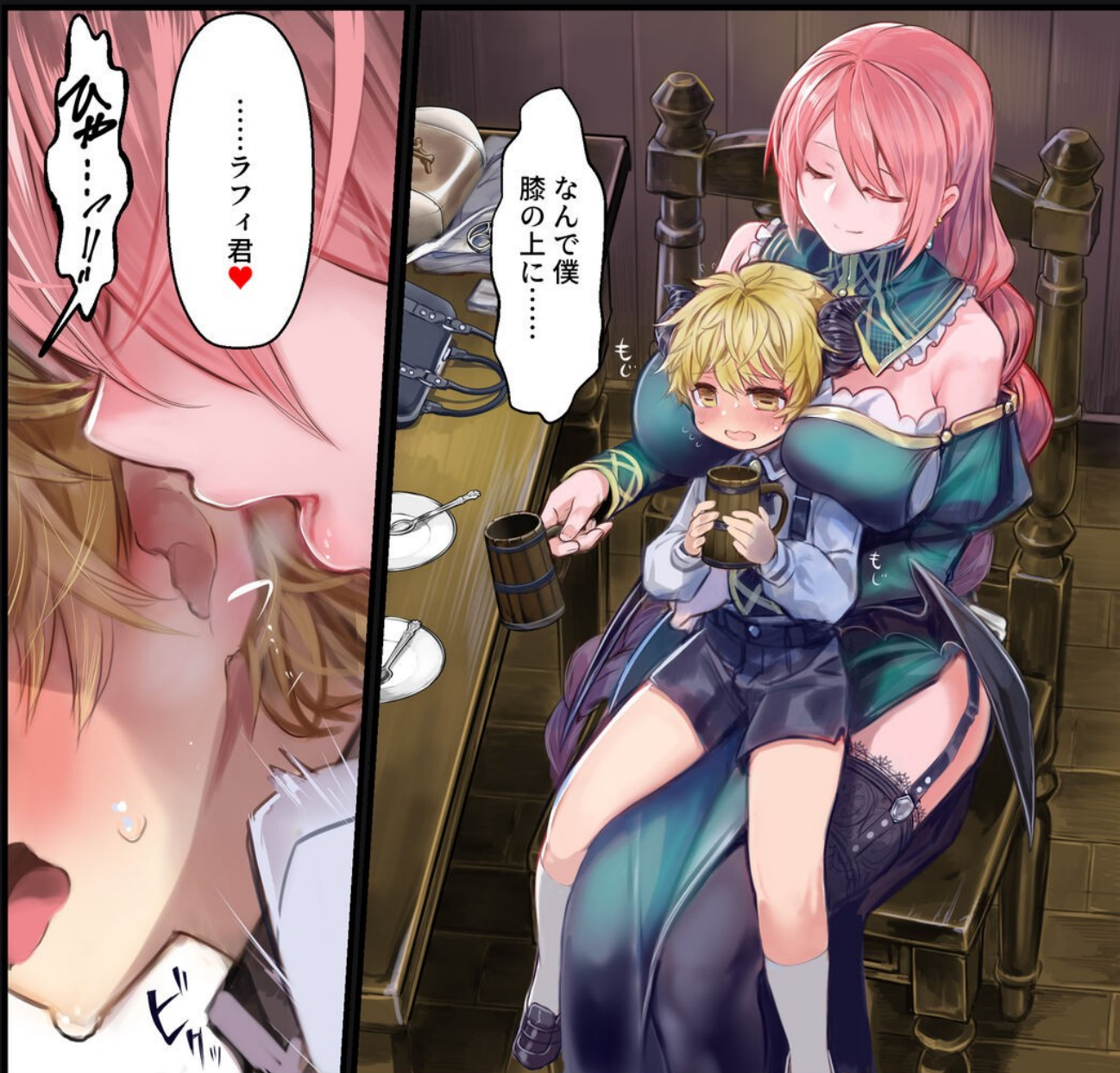
僕はこれを
届きに來ただけ
なので……

折角
來たんだもの

お茶でも
いかが？

えでも

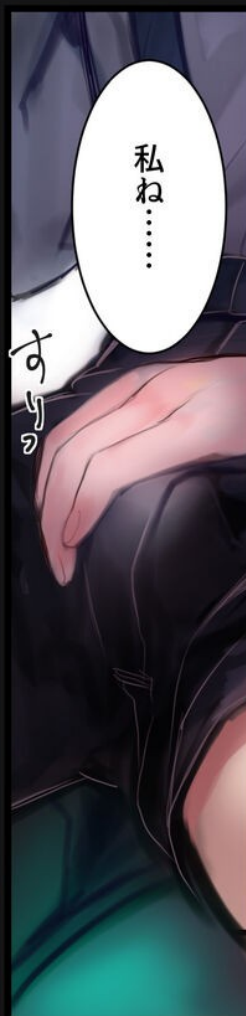
遠慮しないで





昨日の……
見ちゃった♥

ぎゃう……



私ね……

すりり

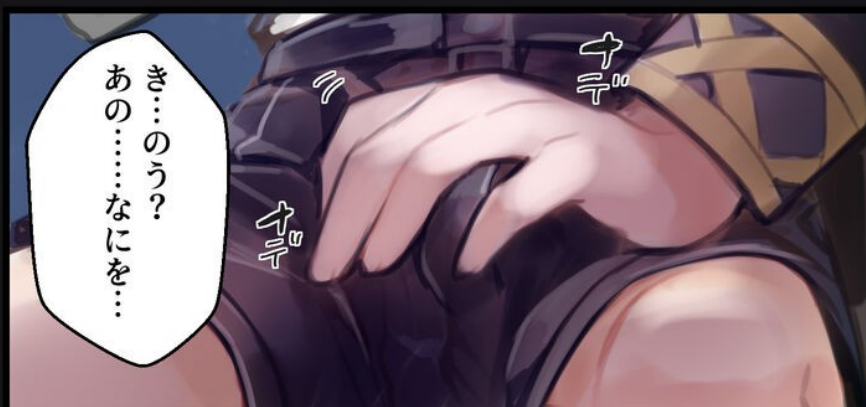


私隣だから
よく聞こえたわ

あー

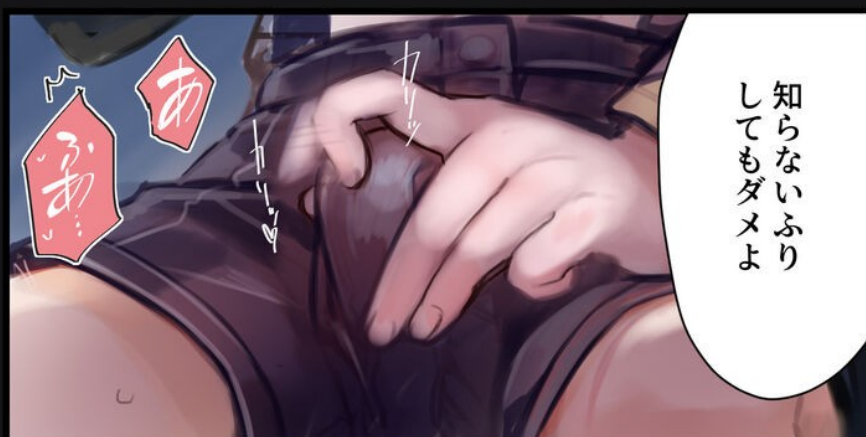
あー

すりり



き……のう？
あの……なにを……

すりり



知らないふり
してもダメよ

あー

すりり





ねラフィ君……❤

キラ……

ドキッ♡

ドキッ♡

こっちでも……
シてあげようか？❤

いっす……♡

あう



おっ
りゅっ
たぬっ!!

こんなに
硬くしてるのに

案外
マジメなのね

グ
チュッ♡

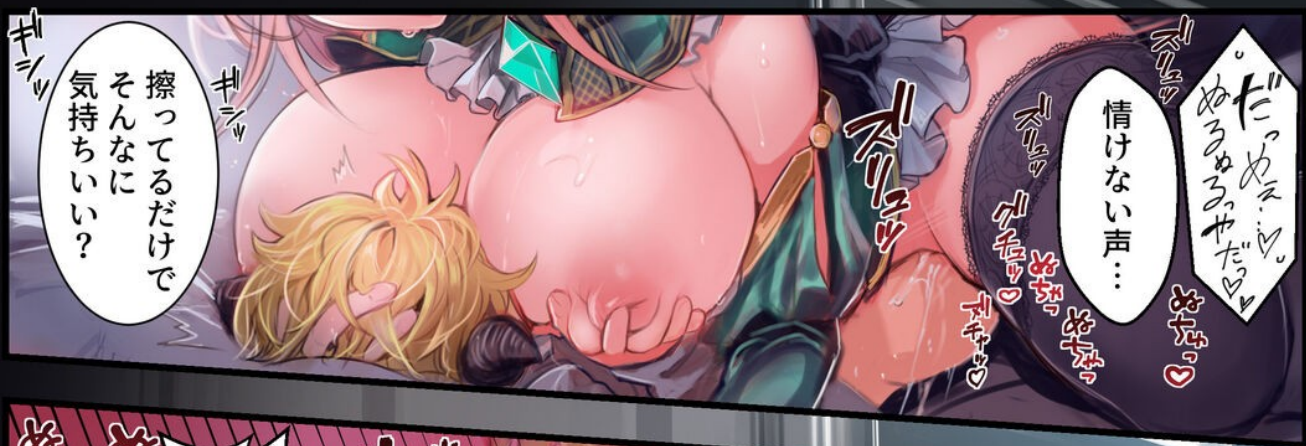
ズ
リゅっ

グ
チュッ♡
ズ
リゅっ

こんな...っ
つもりじゃっ

ぼっ
ぼくは...

うっ
はっ





ふふ
かわいい……♡

だ……ダメだろう
小さい子に
こな……

でもイーリちゃん
この子の事
好きなんですよ？

そそれは……

おにゅうら……



こんなに
望んでるのに…

お預けなんて
可愛そうよ♥

そ…
そうだな

ラ
フ
ィ
君
…

わたしも…
キミが好きだ…

か
あ
あ…

キミと…
ラフィ君と
したい♥

はっ
はっ

あ

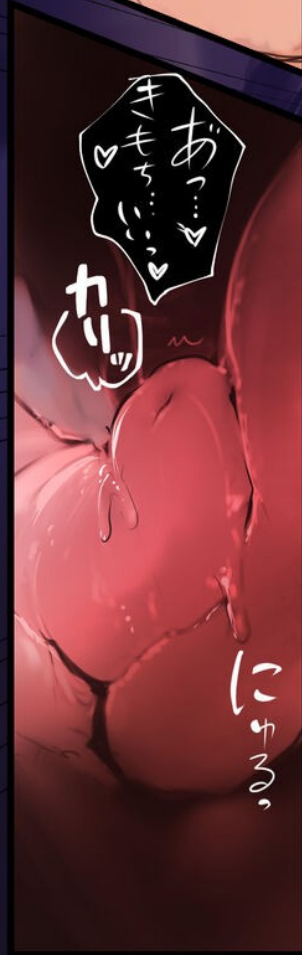
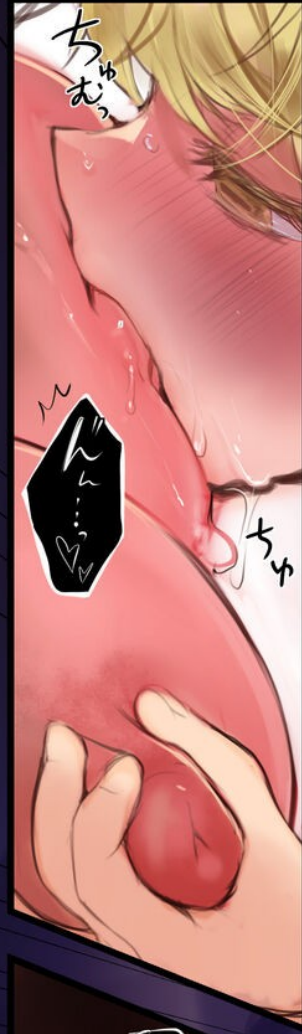
い…

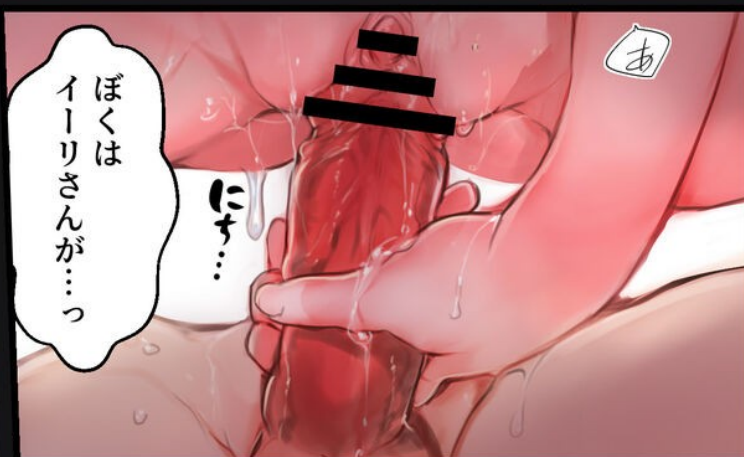
しゅ…っ♥

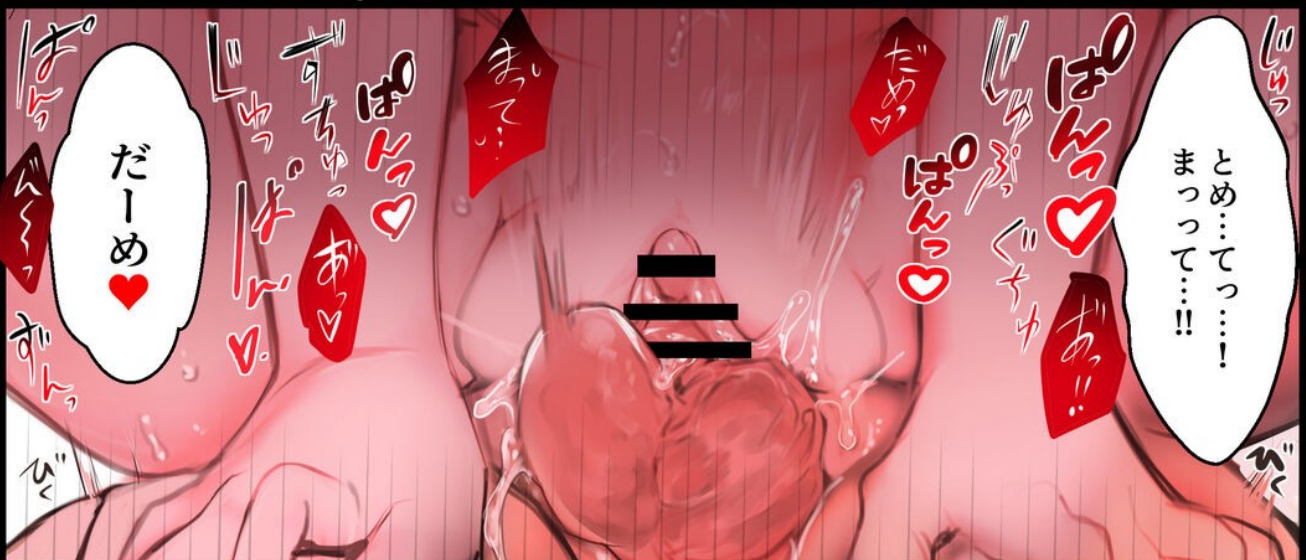
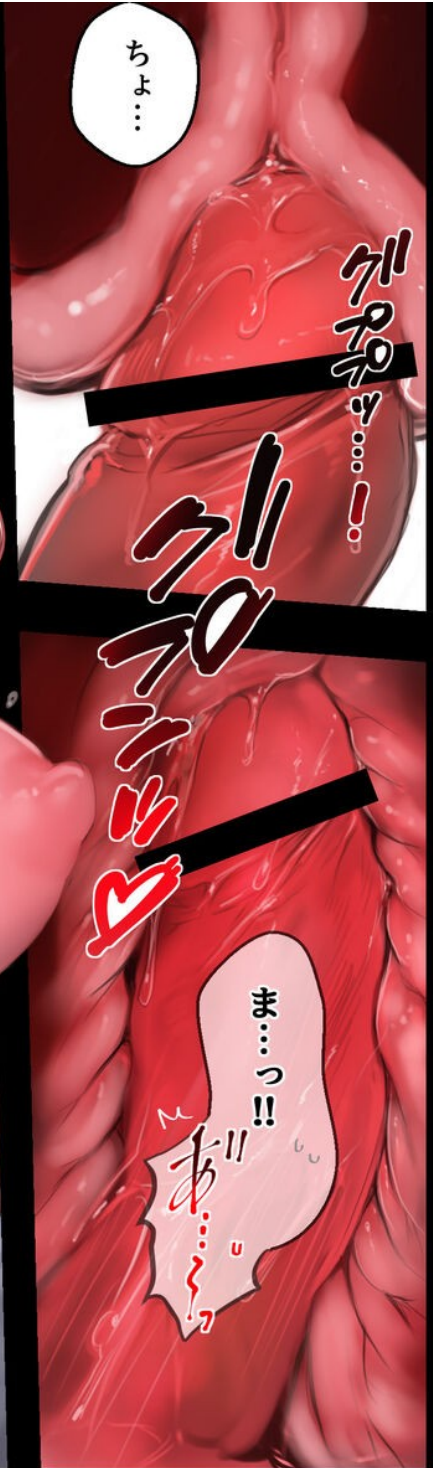


イーリさん！
イーリさん
すき……っ!!

僕のぼくのっ
イーリさん……!!







そこから先は

まるで夢を
見ている
みたいだった

現実感も
ないまま
……僕は



ただ柔らかくて
甘い肉体を

無我夢中で

溺れるように
求めて



気が付けば
どろどろのまま
朝を迎えていた

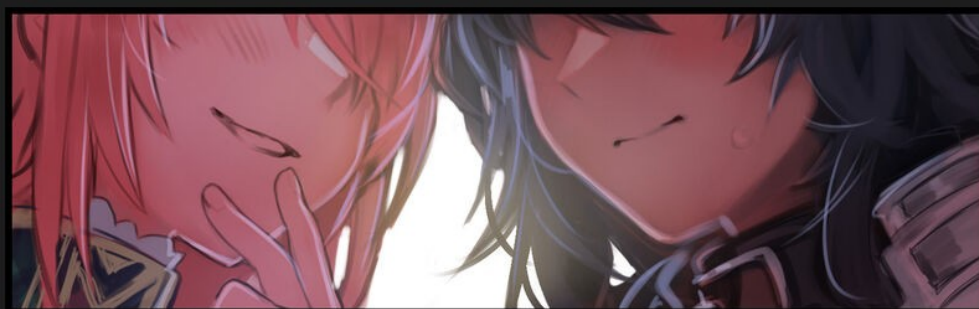




今日こそは！
僕が二人を
気持ちよくさせるね！



あれ？



今日は本当に
お出かけだけの
つもりだったのに

え？

こんなところで
大胆だな……
君は……

ああの…



どうしたの？
ほら…きみ…
まだ元気だよ…

今日はリード
してくれるん
でしょう？

僕が立派な
淫魔になる
道のりは…

あ…すう…

まだまだ
遠いようです

END♡